

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	変化がある場合だけではなく、年2回以上のモニタリング、アセスメントを行い、介護計画を作成する。	細かい計画の見直しを実施する事により、現状に即したケアを実施する。	ケース検討会議、サービス担当者会議等を開催する事により、個々にあった介護計画を作成する。	6ヶ月
2	3	運営推進会議に入居者さんも参加して頂く。	出来るだけ多くの入居者さんに参加して頂き、地域での交流や発言をして頂く事により、生活の向上を図る。	H23年1月の会議に参加して頂き、他者との交流や発言が行ないやすいような雰囲気作りを支援します。又、今後の会議も毎回、出席して頂けるように促します。	1ヶ月
3	6	家族会の設置。	利用者、家族等意見を反映しグループホームでの質の向上を目指します。	12月23日クリスマス会にて、家族様に立ち上げを提案します。	1ヶ月
4	15	検食の職員が一名、入居者さんと同じテーブルで食事をしている。	他職員も一緒に食事を取る事により、コミュニケーションを深める。	現在は10人掛けの為、テーブルの配置を変える事により、12掛けにし、3人の職員が利用出来る。	1ヶ月
5	19	ユニット間仕切りを、常に開放している為、外部からの面会者等よりのプライバシー保護に配慮する。	プライバシー保護の為の工夫。	間仕切りはあるが、板戸で重い為、夜間以外は開放している為、ノレン等の簡易な目隠しを吊るす。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。